

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 436 (通算 768 回)

2022年5月24日(火)

大学法人の第4の役割・責務

地域・社会貢献 — 社会事業の本格展開

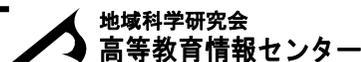
～ 付随事業と収益事業への多様な挑戦 / 大学の諸資源 / 起業・事業化の実際 ～

- ※ 私大法人の財源多様化と収益事業 / 私学法の規程 / 種類と類型 / 具体例と経年変化 / 出資会社急増
- ※ [植草学園] 千葉県生涯大学校の指定管理 / 9年余の5学園運営の実際 / コロナ禍の衝撃と再開
- ※ [立命館] 社会共生価値の創造 / 起業・事業化へ / RIMIXの取組み / 学内外のアクターの協働
- ※ [徳島大] 大学支援機構の設立後6年 / CFによる研究者・学生、行政・地域支援 / コネクト事業

● 講師陣 ●

- 大槻 達也 氏 / 桜美林大学 大学院 国際学術研究科
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム長 教授
- 平賀 洋一 氏 / 元 文部科学省 大臣官房総括審議官
(学) 植草学園 事務局 地域連携推進室長
植草学園大学・短期大学 特命教授
- 酒井 克也 氏 / (学) 立命館 財務部長 兼 総合企画部長 (起業事業化推進) 【オンラインでのご出講】
- 田村 耕一 氏 / (一社) 大学支援機構 代表理事 【オンラインでのご出講】
(国) 徳島大学 理事 (広報・渉外担当)

2022年5月24日(火) アクセア麹町会議室 (東京・麹町) & オンライン



日時: 2022年5月24日(火) 10:00 ~ 16:20

会場: アクセア麹町会議室 (東京・麹町)

千代田区麹町 2-2-4 麹町セントラルビル 9階

アクセス: 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」6番出口より徒歩2分

東京メトロ有楽町線「麹町駅」3番出口より徒歩7分

<https://www.accea.co.jp/cr/tokyo/kojimachi/access.php>

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 41,000円(税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付) 44,000円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 21,000円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ずFAXかE-mailにてお送りください)

☆ 高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはE-mailにてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 436

地域・社会貢献 — 社会事業の本格展開

(該当する□に✓印を) 年 月 日

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス (※返信いたしますので、必ずご記入願います)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:00	<p>□ 私法人における財源多様化と収益事業の展開 ～ 収益事業の種類と経年変化、出資会社の急増 ～</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 大槻 達也</p> <p>1. 財源多様化と収益事業 (1) 財源構成の状況 (2) 財源多様化に関連する政策提言等 (3) 財源多様化の選択肢としての収益事業 (4) 私立学校法の収益事業規定</p> <p>2. 収益事業の実態 (1) 収益事業の種類 (2) 収益事業の経年変化 (3) 収益事業の種類と具体例 (4) 収益事業からの学校法人会計繰入額等の推移</p> <p>3. 収益事業をめぐる近年の動向等 (1) 指定管理者制度による公の施設の管理受託 (2) 出資会社の設立と配当・寄付の受入 (3) 国立大学法人の収益事業展開 (4) 今後の課題 (質疑応答)</p>
<p><ケース・スタディ></p>	
11:10) 12:30	<p>A. [植草学園]「千葉県生涯大大学校 <5学園>」の管理運営と実際 ～2013年から指定管理者/学部・コース・専攻科のプログラム～</p> <p style="text-align: right;">(学) 植草学園 平賀 洋一</p> <p>1. 千葉県生涯大大学校とは? (「コロナ禍」前夜の運営状況) (1) 学校運営の基本的考え方と理念 (高齢者のセカンドライフの充実のために) (2) 高齢者の「生きがいづくり」「健康づくり」「中間づくり」支援 (3) 学部・コース・専攻科のプログラム (地域貢献の担い手育成のために) (4) 指定管理による学校運営の実際</p> <p>2. 「コロナ禍」による2年間の休校の衝撃 (1) 「コロナ禍」による一斉休校の波紋 (2) 休校に伴う指定管理料の大幅削減 (3) <5学園>の現場スタッフの大幅削減 (苦渋の職員雇い止め) (4) 施設維持管理と学生・職員のモチベーションの維持の取組</p> <p>3. 生涯大大学校の再開に向けて (1) 在学生への情報提供 (オンラインミーティングの試みと課題) (2) 再開カリキュラムの準備と新型コロナウイルス感染防止対策の構築 (3) 専現場スタッフの再整備と人事刷新 (再雇用と新規採用) (4) 安全・安心な学園運営の再開と正常化に向けた第一歩 (質疑応答)</p>
13:30) 14:50	<p>B. [立命館] 社会共生価値の創造に向けた起業・事業化の展開 ～学内外のアクターとの協働プラットフォームの取組み～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインでのご出講> (学) 立命館 酒井 克也</p> <p>1. 資金運用から起業・事業化への展開 (1) 資金運用の到達点から出た課題意識 (2) 卒業生・金融機関のヒアリングからの検討 (3) 投資資金が教育・研究に流れるエコシステムの構築に向けて</p> <p>2. RIMIX (立命館社会起業家支援プラットフォーム) の取組み (1) RIMIX について (2) 立命館学園としての一体的な取組み (3) 卒業生・教職員を支援するファンドの設定について</p> <p>3. 起業・事業化推進室の設置による社会共生価値の実現に向けて (1) 起業・事業化推進室の設置 (2) 教育と研究両方の側面からの起業・事業化支援 (3) 学内外のアクターとの社会共生価値の創造に向けて (質疑応答)</p>
15:00) 16:20	<p>C. [徳島大] 徳島大学発クラウドファンディング「Otsucle (おつくる)」 ～ 研究者や地域を応援するプラットフォームの構築 ～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインによるご出講> (国) 徳島大学 田村 耕一</p> <p>1. 一般社団法人大学支援機構の設立 (1) 背景 ～ 多様な外部資金の獲得 (2) 目的 ～ 未来をつくる研究・教育・社会貢献への支援 (3) これまでの歩み</p> <p>2. Otsucle (おつくる) の現状 (1) Otsucle の実績 (2) 大学にとっての意義 (3) 研究者・学生案件 (4) 行政・地域貢献案件 (5) Otsucle の特徴</p> <p>3. 大学支援機構の課題と今後の展望 (1) 研究者紹介と継続的支援 (2) コネクト事業の展開～ 大学リソースと企業・地域をつなぐ事業の展開 (3) 賛助会員の拡大 (質疑応答)</p>